

フキ指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
6 年

11月5日(水) 1校時

道徳『クジラとプラスチック』

本時のねらい

○プラスチックごみで作られたクジラの写真や説明などを通して、自然を大切にすることはということ
かを考えさせ、人間と自然の関わりに関心をもち、自然を大切にしようとする実践意欲を育てる。

本時のこだわり

国語『「永遠のごみ」プラスチック』の第0時、また総合「SDGsを考えよう」の学習
にもつなげ考える。教科横断的に学習を深めていきます。

展開

学習活動	指導・支援（○） 評価（☆）
1 プラスチック問題を知り、自分の生活を振り返る。 T：自然を大切にすることは、ということですか？ C：ごみを捨てない C：プラスチックをリサイクルする T：大切にしないとはということですか？ C：電気をつけっぱなしに… C：給食を残している… T：あなたは自然を大切にしていると言えますか？ 【展開1】 2 写真を見てから本文を読み、交流する。 T：クジラの死体の模型をつくった人たちが、自然を大切にしようと思う心が強いと思う。どうしてですか？ C：海が身近な地域で、海の生き物が苦しんでいる姿を見ているから。 C：海のめぐみをいただいて生きているから。 T：人は自然に助けられている？助けている？どちらが大きいかな？ 3 自分事として考えていく。 T：自然を大切にできない人に足りないものって何だろう C：自分一人くらいなら大丈夫だろうという浅い考え T：もしその考えをもつ人が大勢いたとしたら… C：きっと地球から自然はなくなっていく… C：その結果、人は生きていけなくなる… 【展開2】 4 グループで話し合う。 T：自然を大切にしようとする心を大きくするためにはどうしたらよいでしょうか。 5 まとめと振り返り。 C：自然の有難さをきちんと再認識する！ C：一人ひとりの考え方や意識を変えていく！	○著書「クジラのおなかからプラスチック」より、世界で起きている問題を紹介する。【視覚化】 ○身近な問題を考え、自分事として捉えていく。 【ウィッチ型・全員参加・心メーター】 ○「自然と人は共生している」ことに気付かせ、自分はこれからどう自然と向き合っていくべきかを考えていくゴールが見えてくる。 ○ゴールに向けて思考を【焦点化】していく。 めあて 自然を大切にしようとする心を育て、未来に向けて話し合おう ○ペアで交流したあと、全体で交流する。【共有化】 ○「みんなで考え、解決していかなければ」のようにSDGsにも関連している発言を取り上げる。 ○少人数で話し合うことにより、互いの考えや意見を聞き合い、全員が考えられるようにする。【共有化】 ○（時間があれば）問うてみたい。【ウィッチ型】 ①人が自然に生かされている、②自然が人に生かされている、 ③どちらも共に生きている ☆人間と自然との関わりに関心をもち、自然を大切にすることを自分事として考えている。（ワークシート・発言・話し合い）